

トリプルアイズ

5026・100株

5月31日東証グロース上場

システム開発・AIエンジン提供

システムインテグレーション及び独自開発のAI(人工知能)プラットフォームの提供を行う。AIZE部門では、独自に開発したAIエンジンによるサービスを展開している。画像認識を中心とし、なかでも顔認証のサービスが充実。ヤマダデンキの顔認証決済サービス「ヤマダPay」へのAIZE導入、囲碁AI世界2位といった実績も。従業員は連結で197名。

3/4の上場を予定していたが、延期した経緯がある。今回は価格を大きく引き下げる一方、公開株数をやや増やしての(但し売出しはなしに)再チャレンジとなる。前回と比べ強気な価格設定という印象は薄れ、成長期待の高いテック系IPO銘柄はバリュエーション面への警戒感が後退しているようにも見受けられる。

公開規模については5~6億円程度となる見込み。軽量感のある規模だが、公開価格の1.5倍以上でロックアップ解除される上場前株主の保有株がやや多い。

■IPOスケジュールと類似企業バリュエーション

日程	
仮条件提示	5月12日
ブックビルディング期間	5月13日～5月19日
公開価格決定	5月20日
申込期間	5月23日～5月26日
払込日	5月30日
上場日	5月31日

類似会社3社			
ALBERT<3906>	47.7倍	→	972円
ブレインP<3655>	30.6倍	→	623円
ユーザローカル<3984>	37.2倍	→	758円

(PERは5月10日前引けの会社側予想ベース)

トリプルアイズ

5026・100株

5月31日東証グロース上場

連結業績推移 (百万円・%)						
決算期	売上高	伸び率	経常損益	伸び率	純損益	伸び率
2020/8	1,791	—	▲166	—	▲260	—
2021/8	2,122	18.4%	83	—	38	—
2022/8予	2,595	22.3%	163	94.6%	138	264.5%
2022/2 2Q	1,212	—	93	—	84	—
予想EPS/配当	単独：-円 連結：20.37円/0.00円 ※予想EPSは上場時発行済株式数で試算					

■業績コメント

2022年8月期の業績は、売上高が前期比22.3%増の25.9億円、経常利益が同94.6%増の1.6億円と増収増益の見通しとなっている。

同社グループの属する業界においては、民間企業のIT投資に対する姿勢も一部に慎重な状況がみられるが、一方でデジタルトランスフォーメーション(DX)による既存システムの刷新や、新たなビジネスモデルの構築、生産性向上による競争力の強化などを目的としたICT技術の活用が注目されてきている。AI(人工知能)ソリューション事業においては、AIZE部門におけるAIZE関連請負開発や顔認証勤怠サービスの販売が堅調に推移したことやIT技術者の不足を背景としてAI、IoT(物のインターネット)、DXに係る開発やWEBシステム開発に関する売上が好調だった。

なお、通期計画に対する第2四半期末時点における進捗率は、売上高12.1億円で46.7%、経常利益0.9億円で57.0%となっている。

トリプルアイズ

5026・100株
5月31日東証グロース上場

基本概要

所在地	東京都千代田区神田駿河台三丁目4番地龍名館本店 ビルディング12階
代表者名 (生年月日)	代表取締役 山田 雄一郎 (昭和57年6月11日生)
設立	平成20年9月3日
資本金	4億6525万円 (令和4年4月22日現在)
従業員数	新規上場会社 197人 連結会社 197人 (令和4年3月31日現在)
発行済株式数 (上場時)	6,802,600株 (予定)
公開株式数	公募 540,000株 売出 - 株 (オーバーアロットメントによる売出81,000株)
想定公開規模	5.2億円~5.8億円 (OA含む)
事業内容	システムインテグレーションおよび独自開発のAIプラットフォームの提供

幹事証券団 (予定)

	証券会社名	引受株数	引受シェア
主幹事証券	いちよし証券(株)	未定	未定
幹事証券	野村證券(株)	未定	未定
幹事証券	みずほ証券(株)	未定	未定
幹事証券	(株)SBI証券	未定	未定
幹事証券	あかつき証券(株)	未定	未定
幹事証券	SMBC日興証券(株)	未定	未定
幹事証券	岡三証券(株)	未定	未定
幹事証券	極東証券(株)	未定	未定
幹事証券	東海東京証券(株)	未定	未定
幹事証券	東洋証券(株)	未定	未定
幹事証券	松井証券(株)	未定	未定
幹事証券	マネックス証券(株)	未定	未定
幹事証券	丸三証券(株)	未定	未定
幹事証券	楽天証券(株)	未定	未定

トリプルアイズ

5026・100株

5月31日東証グロース上場

大株主上位10者とロックアップ

株主名	持株比率	ロックアップ
福原 聖子	33.59%	90日間
(株) コスモウエア	25.76%	90日間
AI・テクノロジー・イノベーション・ファンド1号有限責任事業組合	6.73%	90日間 1.5倍
JPE第1号(株)	5.72%	90日間 1.5倍
(株) キューブシステム	4.29%	90日間 1.5倍
(株) TOKAIコミュニケーションズ	3.58%	90日間 1.5倍
山田 雄一郎(社長)	1.98%	90日間
ジェイズ・コミュニケーション(株)	1.79%	90日間 1.5倍
東港金属(株)	1.43%	90日間 1.5倍
丸茂 喜泰	1.00%	

その他情報

手取金の使途	事業開発等技術への投資、新卒者・中途採用者採用や先端テクノロジー教育等人材への投資として充当する予定	
関係会社	株式会社所司一門将棋センター(連結子会社) その他 株式会社シンプルプラン(連結子会社) 研修事業	
VC売却可能分(推定)	-社 -株(売出し・保有期間などの制限があるもの以外)	
直近有償第三者割当	年月日	2021年9月30日
	割当先	株式会社シーティーエス
	発行価格	1925円 ※株式分割を考慮済み

■ 銘柄紹介

同社グループは、AI(人工知能)ソリューション事業を主な事業として取り組んでいる。同社グループの報告セグメントは、「AIソリューション事業」「研修事業」であるが、主たる部門別に記載しており、AIソリューション事業はSI部門とAIZE部門から構成されている。

・SI部門

SI部門においては、LAMP技術、OSS開発技術をベースとした基幹システム・決済システムといったシステム開発を中心に、金融、流通、不動産、サービス、医療等の様々な業界において実績がある。大手SIerからの一次請けやエンドユーザーからの直接取引によるシステム開発が主となる案件となっている。SIerに対しては主に技術者派遣によって人月単価として売上を得ている。システム開発はエンドユーザーから直接請負によって成果物の対価として売上を得ている。同社グループでは、システムの開発からネットワーク構築まで開発における様々な分野に精通したフルスタックエンジニアの育成に注力している。さらに、AI、ブロックチェーン、IoT(モノのインターネット)等の研究開発成果を活かした最先端技術によるソリューションを提携先SIerと協働し、顧客先に提案できるのも同社グループの大きな特徴である。AIエンジンを独自に設計、構築することができるSIer・システム開発会社として、顧客先のニーズに最適なAIシステムをトータルで提供し差別化を図っている。

・AIZE部門

AIZE部門においては、同社グループが独自に開発したAIエンジンによるサービスを展開している。同社グループのAIエンジンは、画像認識を中心としそのなかでも顔認証のサービスをもっとも充実させている。なお同社グループのAIエンジンは、画像認識にとどまらず言語処理、需要予測などに活用されており、他社のデバイスへの組み込みなども可能である。同社グループが注力する画像認識プラットフォーム・AIZEは、顔認証、物体検知を行うソリューションとして、流通小売業を中心に店舗や工場などの業種・業態を問わないサービス提供を行っている。なかでも顔認証については、512次元の特徴量を顔画像から検出し、正面静止画像であれば認証率99%という高精度を誇る。年齢・性別・感情を推測できるAIエンジンは、マーケティングやおもてなし、安全管理に貢献している。

・研修事業

同社グループの研修事業は、シンプルプランが事業として取り組んでおり、全国の様々な企業へ人材育成のためのセミナー研修業務を提供している。

・その他の事業

将棋道場・教室の運営

トリプルアイズ

5026・100株

5月31日東証グロース上場

免責事項(ディスクレーマー)

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかなるを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは強く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山五丁目13番3号

株式会社フィスコ

電話:03-5774-2443(情報配信部) メールアドレス: support@fisco.co.jp